

思い出の地オーストラリア

藍住東中学校 辻 桜季

オーストラリアでの生活は、毎日が新しい発見と驚きでとても充実した日々が送れました。そして、たくさんの優しさに触れる事が出来ました。行く前は緊張していなかったはずなのに、いざオーストラリアに着くと「自分の英語が伝わらなかったらどうしよう」と、不安と緊張が高まっていきました。でも、ホストファミリーとの初対面の時、ホストファミリーの方から名前を呼んでくれて笑顔で迎えてくれました。ホストファミリーの家には、卓球台が置かれてありました。僕と高橋君が卓球部と知って、わざわざ卓球台を購入してくれていたそうです。それを聞いてびっくりしたのとホストファミリーの優しさを感じました。皆で卓球をしてすぐに仲良くなりました。その後、晩ご飯は、ケーキとピザを用意してくれていました。ケーキはホストマザーの誕生日で手作りのチョコレートケーキでした。皆でバースデーソングを歌い、皆で美味しくいただきました。本当の家族のように迎えてくれたのが本当に嬉しかったです。

現地の学校では、バディのボンとすぐに仲良くなりました。ボンは、分かりやすくゆっくり英語で話しかけてくれました。それでも、僕がわからない顔をしていると、インターネット上の翻訳システムを使って僕に説明してくれました。様々な方法で僕と会話をしようとしてくれる彼の優しさには、何度も感動しました。日本語が話せるロッキー先生がいました。ロッキー先生は、日本に来たことがあって、阪神の試合を見たそうです。日本の音楽にも詳しくて、話が盛り上がりました。

学校のプログラムで1日遠足があり、動物園（ワイルドライフパーク）に行きました。初めてコアラに触る事が出来ました。オーストラリアに行った時には、絶対コアラを近くで見たいと思っていたので凄く嬉しかったです。

ホストファミリーとの休日は、シドニー屈指の美しさを誇る（ボンダイ・ビーチ）と、オーストラリア最大の動物園（タロンガ動物



園)に連れて行ってくださいました。ビーチは、白い砂浜が広がっているのが特徴です。サラサラとした手触りで、絵画のような風景を作り出しています。動物園では、アザラシのショーを見ました。アザラシが水しぶきを上げて舞台上で滑るのを見て、彼らの知能の高さに驚きました。日本では見ることのできない珍しい動物もたくさんいて、大満足の日となりました。

学校で仲良くなった仲間たち・先生・ホストファミリーとの別れは本当に辛かったです。こんなに仲良くなれるなんて思ってもなくて、毎日が楽し過ぎて充実した日々が送れました。

今回のオーストラリアでの学びは、積極的に自分からコミュニケーションをとる事や、自信を持って話す事が大事ということに気がきました。この経験は、自分にとって良い刺激になりました。この事を生かし、様々な人に発信し、オーストラリアの良さ、日本の良さをたくさんの人に伝えていきたいです。

今回、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

